
[名称]	FenrirFS Version 2.3.0 ベータ版
[開発者]	Fenrir Inc.
[公開先]	http://www.fenrir-inc.com/jp/fenrirfs/
[連絡先]	info@fenrir.co.jp
[動作環境]	Microsoft Windows XP/Vista/7
[推奨環境]	Microsoft Windows XP SP3
[種別]	ファイル管理ソフト(フリーウェア)
[転載]	License.rtf を参照
[著作権]	(C)2009-2012 by Fenrir Inc.

< 簡単な説明 >

ラベルやスターを付けてファイルを分類する新しいファイル管理ソフトです。

< 使用条件 >

FenrirFS を使用するには使用許諾書に同意する必要があります。使用許諾書は License.rtf にありますので、必ずお読み下さい。

< 配布条件 >

正式版以外のアーカイブはすべて再配布を禁止します。正式版に関しては License.rtf を参照してください。

< インストール >

インストーラーを実行してください。

インストールフォルダの FenrirFS.exe を実行して FenrirFS を起動します。

< アンインストール >

コントロールパネルから FenrirFS をアンインストールしてください。

< バージョン 2.2 の主な変更点 >

- 環境設定 | 全般 | 表示言語(L) から中国語を表示言語として選択出来るようになった。
- ラベルグループの中に子グループを作成出来るようになり、アイテム数が多い場合でも管理し易くなった。
- システム設定のクリアタイプの有効性をチェックして使用フォントを決定するようにした。また、XP 環境でもメイリオがインストールされていて、且つクリアタイプが有効であればメイリオを表示フォントとして使用するようにした。
- Quick Preview ウィンドウで画像ファイルを表示する時に画像の方向情報が反映されない不具合を修正し、動作の信頼性が向上した。

＜バージョン 2.1 の主な変更点＞

- 環境設定 | 全般 | 表示言語(L) から言語の切替が行えるようになりました。
現在、日本語と英語をサポートしています。
- ファイルリスト上の右クリックメニューから Facebook、Twitter 連携写真共有サイト、Evernote に画像ファイルをアップロードできるようになりました。
 - * Evernote には画像以外のファイルもアップロード可能です。
 - * 環境設定 | Twitter または 環境設定 | Evernote ページからアカウント設定を行います。
 - * Facebook へのアップロード時に未ログインの場合は、認証ダイアログが表示されます。
- デジカメやスマートフォンで撮った写真に画像の方向の情報が含まれている場合は、サムネイルとプレビューを補正して表示するように動作を改善しました。
- 起動時にプロファイルフォルダが開けなかった場合に、プロファイルフォルダの場所を選択するダイアログを表示し、正しいプロファイルフォルダの場所を選択出来るようにした。
- ラベルとスマートフォルダの選択位置をプロファイルごとに記憶するようにし、利便性が向上した。

＜バージョン 2.0.3 の主な変更点＞

- 特定のアプリケーションで自動同期モードプロファイル内のファイルを更新した時に、ラベルやコメント等の情報が消去されてしまうことがあった問題を修正し、信頼性が向上した。
- 検索ボックスから検索を行った後に、ファイルリストのアイテムのフォーカス位置がリセットされないことがあった問題を修正し、信頼性が向上した。
- ラベルリストをフラット表示している時に、ラベルグループの開閉を行う矢印をマウスクリックで連続操作出来ない問題を修正し、信頼性が向上した。
- Sleipnir 3 から起動された時の起動引数の処理を改善した。
- 表示モード選択メニューの各項目に不必要な“&”が表示されていた問題を修正し、信頼性が向上した。
- 特定の環境で、デフォルト表示時のフォルダアイコンが表示されないことがあった問題を修正し、信頼性が向上した。

＜バージョン 2.0.2 の主な変更点＞

- 一部の環境で、多重起動時の制御が正常に機能していなかった問題を修正し、信頼性が向上した。
- ファイルリスト上でアイテムを選択してアプリケーションキーを押した時に、コンテキストメニューが表示されていなかった問題を修正し、信頼性が向上した。

＜バージョン 2.0.1 の主な変更点＞

- ファイルリスト上のコンテキストメニューの「開く(O)」選択時に、「開く(O)」がデフォルト動作(コンテキストメニュー内に太字で表示されている。ダブルクリックと同様の動作)でない場合でも、デフォルト動作として処理されていた問題を修正し、信頼性が向上した。
- ラベル名に“&”が含まれているラベルが、ラベル選択メニュー上で正しく表示されていなかった問題を修正し、信頼性が向上した。
- ファイルリストのインプレースエディタで、変換中の文字列を Enter キーを押して確定させずに続けて入力すると、変換中の文字列が消えてしまう問題を修正し、信頼性が

向上した。

- プロファイルを開いた時に、FenrirFS が起動していない間にファイルサイズや最終更新日時などが更新されたファイルの存在を順次チェックするようにし、情報の信頼性が向上した。
- 特定の種類のファイルを更新した時に、ファイルリストに同じファイルが複数追加されることがあった問題を修正し、信頼性が向上した。
- 自動同期フォルダ内にファイルの入っているフォルダをコピーした時に、ラベルの自動設定オプションが正常に動作しないことがあった問題を修正し、信頼性が向上した。

＜バージョン 2.0.0 の主な変更点＞

● 自動同期モードプロファイル

自動同期モードプロファイルを作成出来るようになりました。

自動同期モードプロファイルは特定のフォルダへのファイルの追加／削除／変更を監視して、自動的に FenrirFS のプロファイルに反映し、エイリアスの追加／削除／変更を行います。自動同期モードプロファイルの作成は、画面左上メニュー | 新しいプロファイルの作成(P)... から行います。(従来の手動追加プロファイルもこのメニューから作成します。)

* 自動同期モードプロファイルにドラッグアンドドロップでファイルを追加すると、同期先フォルダのルートにファイルをコピーし、その後同期され、FenrirFS にエイリアスが追加されます。(SHIFT キーを押しながらドロップすると、コピーではなくファイルを移動して追加します。)

* 初回起動時に、マイドキュメント、マイダウンロード、マイピクチャ、マイミュージック、マイビデオの自動同期プロファイルが作成され、プロファイル選択メニューから選択することが出来ます。

* 自動同期モードプロファイルの導入に伴い、クリーンインストール時の初回にオープンするプロファイルが「個人用」から「マイドキュメント」に変更されました。(インストーラ版のみ)

● 右上(検索ボックス右)のボタンから表示モードを切り替えることが出来るようになりました。

- ・ デフォルト表示(D) → 従来と同様の表示方法です。
- ・ ワイドスクリーン表示(W) → 画面右側にファイルのプレビューが表示されます。
- ・ 縮小表示(R) → ファイルのサムネイルが表示されます。

● プレビューウィンドウ

ファイルを選択して SPACE キーを押すと、プレビューを別ウィンドウで表示します。再度スペースキーを押すと、プレビューウィンドウを閉じます。

● 表示フォントの変更

全体的にフォントをメイリオに変更しました。(フォントがインストールされている環境のみ)

● 検索オプションバー

検索ボックスに文字を入力してファイルを検索すると検索オプションバーが表示され、検索範囲を指定したり、検索文字列からクエリを生成してスマートフォルダを作成することが出来るようになりました。

● 「未整理のファイル」の追加

左ペインに「未整理のファイル」項目を追加し、ラベルの付いていないファイルを抽出出来るようになりました。

●外部から左ペインへのドラッグアンドドロップ

外部アプリケーションから左ペインのスターやラベルへドロップすることによって、スターやラベルを付けてファイルを追加出来るようになりました。

<バージョン 1.5.3 の主な変更点>

インストーラ版の FenrirFS を複数起動時に、ファイルやラベルなどに対する変更が他 FenrirFS の表示に反映されないことがあった問題を修正し、信頼性を向上させました。

<バージョン 1.5.2 の主な変更点>

アップデート通知機能が実装されました。インストール後の初回起動時に、アップデート通知機能の有効／無効の選択ダイアログが表示されます。「キャンセル」を選択すると、翌日以降の起動時に再度表示します。）

また、環境設定 | 全般 | アップデート通知機能を有効にする(U) から、有効／無効の設定を変更することが出来ます。

アップデート通知機能を有効にすると、起動時にサーバーと通信を行ってアップデートの有無を確認し、アップデートがあればメッセージを表示します。

アップデート通知機能を OFF にしていても、画面左上メニュー | アップデートを確認する(C)... を選択すると、上記のアップデート確認を行うことが出来ます。

<バージョン 1.5.1 の主な変更点>

バージョン 1.5 には 4G 以上の大きなファイルを追加後、「サイズ」カラムでファイルリストをソートするとエラーが発生する問題があり、それに対処しています。

<バージョン 1.5 の主な変更点>

- スマートフォルダリスト / ラベルリストの表示方法に「タブ表示」を追加し、グループごとにタブで切り替えて表示することが出来るようになりました。(表示方法の変更は、グループ上の右クリックメニュー、又は 環境設定 | その他の設定 | ラベルグループ | スマートフォルダグループの表示方法 から行います。)
- スマートフォルダリスト / ラベルリストの表示方法で従来の「フラット表示」を選択中は、グループを折りたたんで表示することが出来るようになりました。(リスト中のグループのアイテム左側には折りたたみ用の三角形のアイコンが表示されます。)

<バージョン 1.2 の主な変更点>

- インプレイス編集によるラベルの設定
ファイルリスト上でのファイル名変更時に、ファイル名の前に “[ラベル名]” と入力して、簡単にラベルを設定出来るようになりました。
- スマートフォルダグループ
スマートフォルダグループが作成出来るようになりました。

● ラベルのソート / ラベル色の一括変更

ラベルをアイテム数順 / ラベル名順 / 追加順でソート出来るようになりました。
(ラベルリストの右クリックメニュー、またはラベルリスト上部ボタンから表示されるメニューより設定します。)

複数選択したラベルの色 / グループの変更や、削除をサポートしました。

● ラベルメニュー / 移動メニューの改善

ラベルメニュー / 移動メニュー をグループごとにサブメニューを表示するように改善しました。

● Windows 7 の機能に対応

- ・ ジャンプ リストに対応
- ・ タスクバーアイコンのプログレス表示
- ・ タスクバーアイコン に作業用トレイのファイル数を表示

< FenrirFS へのファイルの追加 >

FenrirFS へファイルを追加するには、エクスプローラなどから FenrirFS へファイルをドロップします。

追加した直後は「作業用トレイ」に入りますので、ラベルやスターを付けるなどしてファイルを整理します。

整理が終わったファイルは、選択して「アーカイブ」ボタンを押して、アーカイブすれば「作業用トレイ」には出て来なくなります。

< インプレース編集によるラベル設定機能について >

環境設定 | ラベル | ラベル表示設定 | ラベルのインプレース編集を許可する(I) のチェックを ON にすると、ファイル名編集時、ファイル名の前に “[ラベル名]” と入力してラベルを作成 / 設定することが出来ます。また、“[]” 内に既存のラベルの名前と先頭一致する文字列を入力すると、選択候補が表示され、その中からいづれかのラベルを選ぶことが出来ます。

ファイル選択中にキーボードで CTRL + F2 を押すと、ファイル名の先頭に自動的に “[]” を付加してラベルをすぐに入力できるような形で編集状態に移行します。

< エイリアス作成機能について >

バージョン 1.1.0 から、「エイリアス作成機能」が追加されています。

「エイリアス」は、ファイルの実体を移動せず FenrirFS にその参照情報を保持するもので、「移動」や「コピー」で FenrirFS に追加された通常のファイルと同じように扱うことが出来ます。

環境設定 | ドロップ操作 | テンプレート でエイリアスモードを選択すると、通常の左マウスボタンによるドロップ操作でエイリアスが作成されます。

作成したエイリアスは通常通り作業用トレイにファイルが表示されますが、実ファイルの移動やコピーは行わず実ファイルのパス情報を参照して、アイコンやファイルを表示しています。

エイリアスには、アイコンの左下に矢印状のアイコンが表示され、「移動」や

「コピー」で FenrirFS に追加されたファイルと見分けがつくように表示されます。エイリアスのリンク先のファイルが既に存在しない時は、「!」のアイコンが表示され、無効なエイリアスであることが示されます。無効なエイリアスをダブルクリックして開くと、リンク先のファイルやフォルダを探すためのダイアログが表示され、リンク先を再指定出来るようになっています。また、FenrirFS では「移動」や「コピー」によってフォルダは追加出来ませんが、フォルダへのエイリアスは作成することが出来ます。(フォルダを「移動」や「コピー」で FenrirFS に追加しても、エイリアスが作成されます。)

＜ショートカットファイルの扱い＞

以前のバージョンで追加したショートカットファイルは、バージョン 110 以降ではエイリアスとして扱われ、以前のバージョンと同じようにファイルを開いたりすることが出来ます。また、そのようなショートカットファイルから生成されたエイリアスはエクスプローラへのドロップ操作で、そのままショートカットファイルとして復元出来るようになっています。「移動」、「コピー」で FenrirFS に追加したショートカットファイルについても同様です。また、ショートカットファイルへのエイリアスを作成しようとする、そのショートカットファイルのリンク先へのエイリアスが作成され、この場合はショートカットファイルとして復元することは出来ません。

＜バージョン 110 以降のコンテキストメニュー＞

エイリアス作成機能の追加に伴い、ファイルリスト上の右クリックコンテキストメニューの動作が変更されています。前述のようなショートカットから生成されたエイリアスの右クリックコンテキストメニューには、「ショートカットのプロパティ」というメニュー項目が表示され、ショートカットファイルのプロパティを表示できるようにしています。(通常コンテキストメニューの一番下のメニュー項目として表示される「プロパティ」は、リンク先のプロパティを表示します。) また、ディレクトリの混在する複数ファイルのコンテキストメニューは現在のところサポートしていないため、右クリック時のマウス位置のアイテムと異なるディレクトリのファイルは非選択状態となり、ディレクトリが混在するコンテキストメニューとしないようにしています。また、エイリアスの右クリックコンテキストメニューの「切り取り」「コピー」は、気づかないうちに実体ファイルを移動、コピーしてしまうということを避けるために非対応となっており、無効化されて表示されます。リンク先が既に存在しないエイリアスのコンテキストメニューは、「コメントを記入」等の FenrirFS 独自のメニューのみ表示されるようになっています。(複数ファイルを選択時に他に有効なアイテムがある場合は表示されますが、メニューが選択されても、無効なアイテムは無視されます。)

＜特定のアプリケーションが行う、特殊なファイル更新処理について＞

アプリケーションによってはファイルの更新時に一旦更新内容をテンポラリファイルに書き出してから、元のファイルを別のテンポラリファイル名にリネームして、その後

更新内容を書き出したテンポラリファイルを元のファイル名にリネームするという処理を行います。

バージョン 1.1.1 以前のバージョンでは、実ファイルの保存場所 (<プロファイルフォルダ>¥<プロファイル名>.profile¥files) を監視して、ファイルが追加／削除されると、すぐに FenrirFS のデータベースからも追加／削除を行って同期を取っていましたので、アーカイブしたはずのファイルが作業用トレイに戻ってしまったり、付けたはずのコメントやラベルがなくなってしまうということが発生していました。

バージョン 1.1.2 でこの問題に対処し、実ファイルの保存場所の変更通知を OS から受信してから約 1 秒の待機時間を設け、その間に上記のようなファイル更新処理が行われた場合は、削除処理を行わないように変更しました。

尚、上記の待機時間は設定ファイルに下記の記述をすることによって変更することが可能です。

設定ファイル	<プロファイルフォルダ>¥settings¥setting.ini
セクション	Config
キー	FilesFolderChangeNotifyDelay
値	ディレクトリ変更通知処理の待機時間(ミリ秒)

(例 上記待機時間を 2 秒に設定)

[Config]

FilesFolderChangeNotifyDelay=2000 // この行を "[Config]" の下に追加

..

< 隠し属性のついたファイルの扱い >

バージョン 1.1.2 から、隠し属性のついたファイルを FenrirFS に移動／コピーで追加すると、移動／コピー完了後にファイルの隠し属性を外すように変更され、実ファイルの保存場所(<プロファイルフォルダ>¥<プロファイル名>.profile¥files) に隠し属性のついたファイルが作成された場合は FenrirFS に追加しないように変更されました。

特定のアプリケーションが作成する隠し属性のついた一時ファイルを FenrirFS 上で表示しないようにするために、上記ように変更されました。

< ファイルの移動／処理 >

中央のファイルリストに表示されたファイルを選択して、上部ボタンを操作することによって、ファイルの移動や処理を行うことができます。

「アーカイブ」 ファイルをアーカイブして作業用トレイに出ないようにします。アーカイブされたファイルは「すべてのファイル」フォルダを選択すると表示されます。

「削除」 ファイルをゴミ箱に移動します。またゴミ箱内で削除すると、ファイルを FenrirFS から完全に削除することができます。

- 「移動」 移動先を選択するメニューが表示されます。
いずれかの移動先を選ぶとファイルはその場所に移動します。ラベルを選んだ場合は、そのラベルを付けてアーカイブされます。
- 「作業用トレイに移動」 選択されたファイルを作業用トレイに移動します。
「すべてのファイル」フォルダを選択中のみ有効です。
- 「ラベル」 ファイルにラベルを設定します。ラベルを選択するメニューが表示されます。
- 「その他の操作」 選択されたファイルに対して、いろいろな操作を行うことが出来ます。

開く(O)

選択中のファイルを開きます。

コメントを記入(C)

選択中のファイルにコメントを設定します。

スターを付ける(S)

選択中のファイルにスターを付けます。

スターを外す(U)

選択中のファイルのスターを外します。

選択中のファイルを振り分け(A)

選択中にファイルを「ファイルの自動振り分け設定」に基づいて振り分けます。

電子メールで送信(M)

標準のメーラで、選択したファイルをメール送信します。

<メインメニュー>

画面左上の Fenrir のロゴが付いたボタンをクリックすると、FenrirFS のメインメニューが表示されます。以下のメニュー項目があります。

「ファイルの自動振り分け設定(F)...」

ファイルの自動振り分け設定の管理ダイアログを開きます。

「新しいプロファイルの作成(P)...」

プロファイル名の入力ボックスを表示し、新しいプロファイルを作成します。

「プロファイルの設定(S)...」

プロフィールの設定ダイアログを表示します。

「プロフィールのフォルダを開く(O)...」

プロフィールが作成されるプロフィールフォルダをエクスプローラで開きます。

「自動同期先のフォルダを開く(U)...」

自動同期対象のフォルダを開きます。
(自動同期モードプロフィールの場合のみ表示されます。)

「ゴミ箱を空にする(T)...」

ゴミ箱内のファイルをすべて削除します。

「メンテナンス(M)...」

データベースの最適化や手動バックアップを行います。

「環境設定(E)...」

環境設定ダイアログを表示します。

「Readme.pdf を開く(R)...」

Readme.pdf を開きます。

「アップデートを確認する(C)...」

FenrirFS のアップデート確認ページをブラウザで開きます。

「バージョン情報(A)...」

FenrirFS のバージョン情報を表示します。

「FenrirFS の終了(X)...」

FenrirFS を終了します。

〈ファイルの検索〉

画面右上のエディットボックスに任意の文字を入力すると、「すべてのファイル」からファイルを検索して、ファイルリストに表示します。スペースで区切って複数語で AND 検索を行うことも出来ます。比較対象はファイル名とコメントの文字列です。また、バージョン 110 から詳細検索機能も追加され、環境設定 | ビュー | 検索ボックスの詳細検索機能を有効にする から機能の有効／無効を切り替えることが出来ます。デフォルトは ON です。

詳細検索機能で利用可能な検索オプションは下記の通りです。

label: 文字列
-文字列

文字列が含まれるラベルのついたファイルを検索します。
文字列をファイル名、コメントに含めないファイルを検索

	します。
is:alias	エイリアスを検索します。
is:starred	スターの付いたファイルを検索します。
is:folder	フォルダへのエイリアスを検索します。
in:anywhere	ゴミ箱を含むすべての場所からファイルを検索します。
in:inbox	作業用トレイからファイルを検索します。
in:trash	ゴミ箱からファイルを検索します。
before:yyyy/mm/dd	指定の日付以前に開かれたファイルを検索します。
after:yyyy/mm/dd	指定の日付以降に開かれたファイルを検索します。
less:(数字列 mb) (数字列 kb) (数字列 b) (数字列)	指定したサイズ以下のサイズのファイルを検索します。
more:(数字列 mb) (数字列 kb) (数字列 b) (数字列)	指定したサイズ以上のサイズのファイルを検索します。
target:文字列	実ファイルのパスに文字列が含まれるファイルを検索します。
filename:文字列	ファイル名に文字列が含まれるファイルを検索します。
comment:文字列	コメントに文字列が含まれるファイルを検索します。
filetype:文字列	拡張子に文字列が含まれるファイルを検索します。
OR	前後の表現を OR 条件として結合します。
NOT	直後の表現を否定します。

() を使用したグルーピングにも対応しており、無制限にネストすることが出来ます。上記検索オプションや、空白文字を検索キーワードに使用する場合は、ダブルクォーテーションで括る必要があります。空白で区切った AND の結合よりも、“OR” を使った OR 結合の優先度が高いので、空白で区切った条件を優先して組み合わせたい場合、() で括ってグルーピングする必要があります。また、NOT は最も結合の優先度が高く、「NOT A OR B」という表現は、「(NOT A) OR B」と同じ意味になります。OR と NOT 以外の全ての検索オプションは大文字小文字を区別しません。OR と NOT は大文字で記述してください。

* 詳細検索例

filename:(Sleipnir OR Grani)	Sleipnir または Grani を探す。
after:2010/01/01 filetype:.txt	2010 年に入ってから開いたテキストを探す。
NOT label:(NOT "") is:alias	ラベルのついていないエイリアスを探す。

< フォルダリスト >

FenrirFS の画面左上には、フォルダリストがあります。フォルダリストには下記のフォルダがあります。バージョン 110 からファイルリストからフォルダリストへのドラッグアンドドロップでファイルを移動する機能が追加されました。

「作業用トレイ」

FenrirFS にファイルを追加すると、最初に作業用トレイに入ります。

「スター付き」

スターを付けたファイルを全て表示します。
(ゴミ箱内のファイルは表示されません。)

「すべてのファイル」

FenrirFS に追加された全てのファイルを表示します。
(ゴミ箱内のファイルは表示されません。)

「未整理のファイル」

1つもラベルが付いていないファイルを表示します。
(ゴミ箱内のファイルは表示されません。)

「ゴミ箱」

削除したファイルを表示します。

＜スマートフォルダについて＞

スマートフォルダを利用すると、データベースに保存されたファイルの様々な属性を利用してファイルを検索することが出来ます。

スマートフォルダリストのヘッダ部分のボタンをクリックすると、メニューが表示され、スマートフォルダ／スマートフォルダグループの追加／変更／削除を行うことが出来ます。

バージョン 1.2 から、スマートフォルダの不可視設定が廃止されました。

バージョン 1.2 の初回起動時に変換が行われ、不可視だったスマートフォルダには名前の先頭に「*」が付加されます。

また、定義済みのスマートフォルダはスマートフォルダ追加／変更ダイアログから簡単に選ぶことが出来るようになりましたので、ユーザーによって変更が加えられていない、不可視の定義済みスマートフォルダは上記の変換時に削除されます。

＜ラベルについて＞

ラベルを利用すると、ファイルを分かりやすく整理することが出来ます。

またラベルグループはラベルをまとめるためのものです。

画面左下にラベルリストがあり、そこに作成済みのラベルが表示されます。作成したラベルをファイルに設定するには画面上部の「移動」ボタンか「ラベル」ボタンを使用します。ラベルリストのヘッダ部のボタンをクリックすると、ラベルとラベルグループの作成、編集、ラベルの並べ替え等を行う事が出来ます。

また、環境設定 | ラベル から、ファイルに設定したラベルの表示方法や、ラベルリスト内のラベル複数選択時のファイル抽出方法を設定することが出来ます。

ラベルはドラッグアンドドロップによって、位置変更やグループ間の移動をすることが出来ますが、いずれかの並べ替えを選択している時は、同一グループ内のラベルの位置変更は出来ないようになっています。

＜ファイルの自動振り分け設定＞

ファイルの自動振り分け設定を行うとファイルの追加時に条件に合うファイルに対して特定の処理を行うことが出来ます。

メインメニューの「ファイルの自動振り分け設定(F)...」を選んで、ファイルの自動振り分け設定ダイアログを表示し、「追加(A)...」をクリックしてフィルタ条件を作成します。

＜プロファイルについて＞

FenrirFS は「プロファイル」単位でファイルを管理します。

プロファイルには自動同期モードプロファイルと手動追加モードプロファイルの2種類があります。

自動同期モードプロファイル

同期先フォルダ内のファイルの追加／変更／削除時に、プロファイルへ変更を反映します。
(バージョン 2.0.0 から追加された機能です。)

手動追加モードプロファイル

手動でプロファイルにファイルを追加します。

インストール後の初回起動時に、「マイドキュメント」、「マイダウンロード」、「マイピクチャ」、「マイミュージック」、「マイビデオ」、「個人用(手動)」の6つのプロファイルが作成され、画面上部のプロファイル選択メニューから選択出来るようになっています。
(OS のバージョンによっては「マイビデオ」などのプロファイルの同期先となる Windows フォルダが見つからない場合があります、そのような場合はプロファイルが作成されないことがあります。)

画面左上のメインメニューから「新しいプロファイルの作成(P)...」を選ぶと「新しいプロファイルの作成」ダイアログが現れ、新しいプロファイルを作成することが出来ます。
プロファイルの変更は、画面上部のプロファイル選択メニューから行うことが出来ます。

* インストール直後のプロファイル選択メニューにはデフォルトのプロファイル、「マイドキュメント」が表示されています。

* ポータブル版は、USB メモリなどに入れて持ち運んで複数の環境で利用することを想定していますので、デフォルトのプロファイルを「個人用(手動)」としています。

＜環境設定＞

画面左上のメインメニューから「環境設定(E)...」を選ぶと、環境設定ダイアログを表示することが出来ます。環境設定ダイアログから様々なカスタマイズを行う事が出来ます。

「全般」ページ

プロファイルフォルダを変更することが出来ます。

「ドロップ操作」ページ

ドロップ時の操作のモード選択や、カスタマイズを行います。

「ビュー」ページ

ファイルリスト関連の設定を行います。

「ラベル」

ラベルの表示設定などを行います。

「キーボード」ページ

FenrirFS には多くのキーボードショートカットが設定されています。

キーの割り当てはこのページから変更することが出来ます。

「拡張キーボードショートカットを有効にする」にチェックを入れると拡張キーボードショートカットが有効になり、より多くの操作をキーボードで行うことが出来るようになります。

「確認」ページ

ファイルやラベル削除時の確認ダイアログの表示設定を行います。

「その他の設定」ページ

FenrirFS を常駐する設定などを行います。

〈プロファイルフォルダについて〉

FenrirFS を起動すると

〈Windows のユーザーディレクトリ〉¥FenrirFS Storage にプロファイルフォルダが作成され、その配下に FenrirFS で作成した各プロファイルのフォルダが作成されます。

デフォルトのプロファイルは「個人用」です。

バージョン 110 から 環境設定 | 全般 | プロファイルフォルダ から、プロファイルフォルダの場所を自由に設定することが出来るようになりました。

プロファイルフォルダ配下の各プロファイルの構成は下記のようになっています。

db/

FenrirFS.db ファイルやラベルの情報を保持するデータベース

db_bkp/

データベースのバックアップが保存されます。

files/

FenrirFS に追加したファイルが保存されます。

import/

エクスプローラなどでここにファイルを配置すると、この import フォルダが属しているプロファイルを開いた時に、FenrirFS に自動的に追加されます。他アプリケーションと連携するために使用することが出来ます。

＜ローカルモード＞

起動時に FenrirFS.exe と同じディレクトリに FenrirFS.local という名前のファイルが存在すると、FenrirFS がローカルモードで起動されます。ローカルモードで起動すると、プロファイルフォルダが FenrirFS.exe と同じディレクトリに作成されます。USB メモリなどに入れてポータブルに使用する場合に便利です。その際は、USB メモリ内の目的のフォルダに、FenrirFS.exe、FenrirFS_Local_Server.dll、sqlite3.dll、ffsprev.exe、Images フォルダ以下全てをコピーし、FenrirFS.local という名前のファイルと同じフォルダに作成して、FenrirFS.exe を起動します。

上記環境をあらかじめ用意した、Portable FenrirFS も下記 URL に用意されています。そちらも合わせてご利用ください。

<http://www.fenrir.co.jp/fenrirfs/>

＜ファイルテーブルの構成＞

スマートフォルダ機能を使用すると、データベースのファイルテーブルに保持されている情報からファイルを検索することが出来ますが、インストール時からあるスマートフォルダを編集したり、自分で新規に作成する際には、SQL クエリを作成する必要があります。その際に利用可能なファイルテーブルのカラムを下記に示します。

テーブル名 : files

カラム:

FileName	文字列	files フォルダ内のファイル名
FileSize	数値	ファイルのサイズ(Byte)
Comment	文字列	コメント
Star	数値	スター設定(1 ならスター付き)
Point	数値	ファイルの使用頻度。数が多いほど使用頻度が高い
FolderId	数値	フォルダ。1=作業用トレイ、3=アーカイブ済み、4=ゴミ箱
LastExecuteDate	文字列	最後に実行した日 (YYYY-MM-DD)
LastExecuteTime	文字列	最後に実行した時間 (HH:MM:SS)
Extension	文字列	ファイルの拡張子
AddDate	文字列	ファイルが FenrirFS に追加された日 (YYYY-MM-DD)
Alias	数値	エイリアスであるかどうか(1 ならエイリアス)
IsFolder	数値	フォルダかどうか(1 ならフォルダ)
AliasTarget	文字列	エイリアスの実ファイルのパス
DisplayFileName	文字列	表示ファイル名

バージョン 110 にてエイリアス作成機能が追加されたのに伴い、表示ファイル名の情報として DisplayFileName が追加されました。ファイル名で検索する際に FileName カラムを使用してクエリを作成すると、エイリアスが正しく検索されませんので、DisplayFileName を使用してください。

＜追加時のファイル名重複時の動作＞

追加しようとするファイルのファイル名が既に追加済みのファイルのファイル名と衝突する場合、以下のように処理されます、

- 1、コマンドライン起動時、及び import フォルダからの追加の場合、自動的に衝突しない名前に変更の上、FenrirFS に追加されます。
- 2、ファイルリストへのドラッグアンドドロップによる追加の場合、「環境設定」-「ファイル操作」-「ファイルリストへの追加時の動作」-「同名ファイル追加時の処理」の設定に従います。

また、エイリアスについてはリンク先のディレクトリが異なれば、重複するファイル名でも追加することが出来ます。パス情報等が完全に一致するエイリアス追加時はデフォルトでは無視されるようになっていますが、環境設定 | ビュー | エイリアスの設定 から追加出来るように変更することが出来ます。

＜データベースのバックアップについて＞

＜プロファイルフォルダ＞¥db_bkp には データベースファイルのバックアップが作成されます。一日の内、はじめてそのプロファイルを開いた時に、その日分のバックアップが FenrirFS_YYYYMMDD.db という名前で保存されます。最大バックアップファイル数はデフォルトでは 5 日分で、それを越えると古いバックアップファイルは削除されます。バックアップをするかどうかの設定と最大バックアップファイル数は「環境設定」-「プロファイルの設定」から変更出来ます。データベースに障害が発生し正常に動作しなくなった場合、バックアップファイルを FenrirFS.db という名前に変更して＜プロファイルフォルダ＞¥db にコピーして起動することにより、以前の正常に動作していた状態に戻すことが出来ます。

＜起動時のコマンドラインパラメータ＞

FenrirFS 起動時にパラメータを指定すると、そのパラメータがファイル名としてディスク上に存在する場合、起動後 FenrirFS に追加されます。ファイルがプロファイルと同ドライブに存在する場合、ファイルを「移動」して FenrirFS に追加し、ファイルがプロファイルと違うドライブに存在する場合、ファイルを「コピー」して FenrirFS に追加します。また、下記のオプションによって、追加されるファイルに対して特定の処理を行うことが出来ます。

```
--label <ラベル名> // 「ラベル名」のラベルを付けます。  
--star // スターを付けます。
```

```
--archive           // ファイルをアーカイブします。
--profile <プロファイル名> // 「プロファイル名」のプロファイルに追加します。
--keep             // 元ファイルの場所に関わらず、「コピー」して
                  // ファイルを追加します。
--alias            // エイリアスとしてファイルを追加します。
```

```
例) FenrirFS.exe --profile 個人用 --keep --label ラベル1 --label ラベル2
    --star --archive C:¥a.txt
```

上記は

「個人用プロファイルに移動し、「コピー」でファイルを追加して、ラベル「ラベル1」「ラベル2」を設定し、スターを付け、アーカイブする。」という動作になります。
